

第 41 号 平成 27 年 10 月 1 日

発行所／神山復生病院 〒412-0033御殿場市神山109 (Tel)0550-87-0004 (Fax)0550-87-5360

(E-mail)info@fukusei.jp (ホームページ) <http://www.fukusei.jp/>

《 理 念 》

神山復生病院は キリストの愛に基づいて 病める人も健やかな人も 神によって創られた人間として
喜びも苦しみも共にしながら 一人ひとりの命を大切にし 希望をもって医療と福祉に献身します

《 基本方針 》

- 1 患者様本位の医療
患者様一人ひとりの生活を重視し、地域のニーズに応えるサービスを提供します
- 2 職員の人材育成
優れた人材を育成するため、研修を充実し、専門・認定資格の取得を目指します
- 3 経営の安定化
病床利用率を高め、病院の経営状態を安定化します



「たくさんの方々に支えられて」

看護部長 杉山美貴子

神山復生病院看護部は、H27年4月に改編され新メンバーにて始動しました。看護部長となった私は、右も左も分からない手さぐり状態でありましたが、看護部の職員はもとより病院職員の支えもあり、なんとかこの半年間を乗り越えてくることができました。

現在49名の看護要員が、日々患者様の看護や介護に奮闘しています。60床という小規模病院であります故、大病院のような最新機器や設備はございません。でも小さいが故にできるゆったりとした丁寧なケアや、患者様のみならずご家族様とも近い距離間で、心を通わすことのできるアットホームさ、神山復生病院らしさだと感じております。また、広大な敷地にある豊かな自然が、療養生活にプラスの影響を与えてくれる、神山復生病院にしかない良さがあると自負しております。

今年で神山復生病院は創立126年目を迎えました。その長い年月の中で患者様のために約40年もの長きに亘って働いて下さった看護師さんが、今年8月療養病棟に入院されました。101歳となられた今でも「寝ているなんてもったいない。何かできることはないかしら？」と手仕事を手伝って下さっています。最も小さき人に自分ができることを精一杯、長く続けて来て下さった先輩方のおかげで、看護部は今もここに存続できているのだと感謝するばかりです。小さな看護部ではありますが想いを一つにし、病院理念達成に向け皆で協力し、また今日から小さな一歩を踏み出したいと思います。復生病院看護部に興味を持たれた方はぜひご連絡くださいませ、お待ちしております。。。。。





実習生を受け入れて



これまで当院では、医師・看護師・介護士や栄養士の実習生を受け入れてきましたが、今年初めて復生記念館で学芸員になるための必要な博物館実習の実習生 2 名を受け入れました。小さな施設で、建物は修復中、展示数も減らしている状況でしたが、資料の整理・保存などの日常業務の加え、個人・団体の見学者もあり来館者の接遇やリニューアルに向けての取り組みなど、コンパクトに体験してもらえたと思います。ここでの経験が 2 人の実習生の今後に活かしてもらえたら嬉しいです。

(復生記念館 森下裕子)

～実習を終えての感想～

昭和女子大学 人間文化学部 歴史文化学科 4年 日越彩子

6 日間の実習から、初めて来館された人に向けてどのような工夫をすれば、わかりやすく相手に理解していただけるのかを学ばせていただきました。大学の授業では実際にすることができない、展示品のリスト作成や収蔵品のパソコンへの画像の取り込みの作業をやらせていただきました。決まった形式があるのではなく、自分が初めて見た時にどんな収蔵品があるのか、すぐに理解できるかを考えながら一日一日の作業に努めました。実際に患者さんのお話をお聞きすることができ、自分の知らなかった日本の歴史を学ぶと共に明治期からの患者の方々の現在に至る想いを感じました。



展示予定の古い籐の椅子の清掃を行っている様子

昭和女子大学 人間文化学部 歴史文化学科 4年 櫻井まみ

記念館のリニューアルに館務実習として携わせていただくという貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。記念館での館務実習を通し、私がいちばん学んだことは膨大な資料をできるだけ早くデータ化し、残していくことの大切さです。特に古い資料などは、取り扱う際に破損してしまうことも多く、十分注意しなくてはなりません。データ化を進めることにより、デジタル資料として閲覧することができるようになれば、何回も破損しやすい資料を取り扱わずに済むため、結果として資料を保護することにもつながることを学びました。

記念館に訪れた方々に、わかりやすく病院の歴史を伝えることや、資料の保存・修復など、学芸員の仕事内容は多岐にわたっており、どの分野に関しても臨機応変に対応していかななくてはならない難しさも感じました。この実習を通して得られた学びを、今後の研究に活かしていきたいと思います。

復生記念館の修復途中の現場見学会を 11 月 7 日(土)に行います。詳細は最終ページをご覧ください。

職場紹介(ホスピス病棟 看護師編)



私たちホスピス病棟では、最後までその方らしく安らかな日々を過ごして頂く為に、真剣勝負で患者様の看護に取り組んでいます。ハードな毎日ではありますが、笑顔と食欲はたやすことなく、今年度ここまで一人の病欠者も出さずに頑張っています。

これからも、チームみんなで協力し合い、患者様とご家族に寄り添う看護を提供していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

(ホスピス病棟 眞田久美子)





消防・防災訓練

防災管理委員会委員長
森田秀一郎

神山復生病院では、毎年、年3回の消防訓練と年2回の防災訓練を実施しています。6月29日に実施した消防訓練では、特に新規採用職員を中心に初期消火訓練を行いました。火災発生時には、初期消火が非常に重要となりますので、職員全員が消火器をしっかりと使用できるように今後も繰り返し訓練していきます。また、9月17日には、防災訓練として炊き出し訓練、非常用電源確保訓練を行いました。炊き出し訓練では、非常食を試食しましたが、主食、副食ともにとっても美味しく、そして何よりデザート（オレンジ）がとても非常食とは思えない新鮮さが驚きました。現在、日本全国で、火山の噴火・地震・河川の氾濫等の自然災害が発生していますので、当院も今後しっかりと災害に備えていきたいと思えます。



6月29日行われた消防訓練



9月17日行われた炊き出し訓練



メニューは山菜おこわ
ポテトサラダ・鶏そぼろ
オニオンスープ
バレンシアオレンジ（缶詰）



院内の像③ ～憐れみの聖母～

シスター徳永美智子



憐れみの聖母像

県道栃窪のバス停より滝見橋を渡り、左手に行くと小さい橋（天国橋）があります。その橋を渡り、復生病院の敷地に入った少し右手にイエスを抱いた白い像が立っています。

その像が、大正14年（1925年）に当時の院長ドルワル・ド・レゼー神父の故郷フランスから東洋の国、日本へ送られて来た「憐れみの聖母」です。聖書の中で聖母マリアについての記述はとても少ないのですが、私たちの模範としてイエス・キリストの母、また私たちの母としてのマリアの姿が描かれています。人と神への取次者として、そしてすべての病者と苦しみ悩む人の母、私たちを助け、支え、決して裏切ることのない母としてのマリアの姿を見ることが出来ます。ハンセン病を患い、肉親から引き離されたその悲しみと、人生の挫折を受けざるを得なかった人々の心を慰めるために、今から90年前に復生病院に送られてきた「憐れみの聖母」像……私たちの母であり続ける聖母マリアに「アベ・マリア」のお祈りを捧げましょう。“アベ・アリア恵に満ちた方、主（イエス）はあなたと共におられます。……”

憐れみの聖母よ、すべての人々の祈りを聞き入れ、見守ってください。



今回のおすすめ



ホスピス病棟主任として半年を迎えようとしています。めまぐるしく過ぎる月日ですが、これらの本に癒されています。アロマの香りを楽しみながら古^{いにしえ}の人々がどのように過ごしていたのかを想像し、パッチワーク教室の仲間とランチをする……近代の宇宙に関する知識は日々新たになり136億年の創世に思いを馳せて至福の時を過ごすのが私の今の幸せです。

ホスピス病棟 松永千歳世



外 来 担 当 表



	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午 前	内科(平田) 循環器科(関口) (第3週) 心療内科(飛澤) (予約制)	内科(林)	内科(平田)	内科(林)	内科(江藤) 心療内科(飛澤) (予約制)	心療内科(飛澤) 皮膚科 (皮膚科外来予定表を ご覧下さい)	休 診
午 後	循環器科(関口) (第3週) 14:00~15:30	休 診	休 診	緩和ケア外来 (平田) (予約制)	休 診	休 診	

- インフルエンザの予防接種をご希望の方は受付・外来にご相談下さい。
- 土曜日午前の内科外来はしばらくの間、休診となります。

皮膚科外来予定表



太田 有史 医師			
診察開始	9:00	診察日	10/3 ・ 11/7 ・ 12/5
新村 真人 医師			
診察開始	9:00	診察日	10/10 ・ 11/14 ・ 12/12
石地 尚興 医師			
診察開始	9:00	診察日	10/24 ・ 11/28 ・ 12/26

お知らせ：第3、5土曜日の皮膚科外来は休診となります。
 都合等により、休診や代診の場合があります。お電話でお問い合わせのうえご来院下さい。

新しい仲間の紹介 「宜しくお願いします♪」



小澤 一代 (ホスピス病棟 看護補助)
 初心にかえり頑張りたいと思いま
 す。よろしくお願い致します。

~お知らせ~

- 労働衛生週間
10月1日~10月7日
- ふれあい作品展 (ボランティア作品展)
11月10日~11月16日 (作品募集中)
- 平成27年度追悼ミサ (遺族ケア)
11月14日



復生記念館 保存修復工事現場見学会参加者募集



明治30年創建で国の登録有形文化財となっている復生記念館は、創建当時の形への復原を目指して解体調査が終了し、本格的な復原工事に入りました。修復の様子の説明を行い、それらを実際に現場で見えます。興味のある方は是非ご参加ください。

日時：11月7日(土) PM 1:00~3:30 場所：旧会議室、復生記念館
 内容：約50分間、調査報告のあとグループに分かれ順次現場見学
 募集人数：50名 (先着順)
 募集方法：10月13日(火)~16日(金)復生記念館(87-3509)までご連絡下さい

編集 後記



文豪夏目漱石が晩年を過ごした漱石山房が新宿区にあります。以前近くに住んでいた頃「肩にきて人懐かしや 赤蜻蛉」の句碑をよく見ていました。トンボは常に前へ進み、退かないということで縁起がよいとされ、戦国時代には勝ち虫とも言われていました。今でも鹿革の伝統工芸品である印傳の模様に使われています。今月から10月です。皆さんも赤とんぼを見かけたら、縁起が良いと思って前に進んで行きましょう。次回12月号もお楽しみに。

編集委員 **え**

